

訪問看護ステーション 連絡協議会だより

第6号

発行年月 2003年9月
発行所 岡山県訪問看護ステーション
連絡協議会
〒700-0805 岡山市兵団4-31
TEL086-235-0225
E-mail houmonkango@nurse.okayama.okayama.jp

発行責任者 若林 敏子



会長挨拶

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会
会長 若林 敏子

会員の皆様方には、お元気に訪問看護の充実発展のために、日夜ご活躍されていらつしやる事と心から感謝申し上げます。平素は、当協議会の事業推進につきましても、ご支援ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、訪問看護制度もステーション創設から10年が過ぎ、各ステーションにおいても10周年の記念行事や記念誌の発刊など節目を迎えられ、新たな次の事業に取り組んでいらつしやることと思っております。10年経過した事業も社会的サービスとなり目に見える事業所となつてきています。

また、12年度に開始された介護保険制度も3年が経過し、本年4月には、見直しがあり、介護保険料の値上げや緊急時訪問看護加算の引き下げなどの改定があるなど厳しい状況であります。一方で、厚生労働省は、訪問看護・在宅ケアの推進に向けて強く打ち出されましたが、まだまだ地域の看護ニーズは充足されていないのが現状であり、特に、入院医療の短縮化は、在宅における医療ニーズの多様化重症化、そして医療依存度の高い利用者の増加は、訪問看護に寄せる期待も高く、訪問看護を取り巻く環境の変化とともに在宅ケアを行う責任者として、訪問看護師の役割は重要となつていきます。今年3月にまとめられた「新たな看護のあり方検討会」の報告書を受けて、皆様ご承知のように、「看護師等による静脈注射が診療の補助行為」として認められました。訪問看護業務の拡大と共にそ

の責任の重大を認識していかねければなりません。

また、6月に公表された「看護師による在宅ALS患者の療養支援に関する分科会」の報告書では、これまで看護師の業務に位置付けられてきた吸引がALS患者に限って指導を受けたヘルパーにも「3年の時限措置として」認められました。この見直し期間内で、看護界はこの看護技術を看護職の責任において、患者さんに提供できる体制を作る必要があります。訪問看護体制の拡充と訪問看護師の人材確保、質的確保が急務であると思っております。

さて、岡山県訪問看護ステーション連絡協議会では、平成15年度の総会並びに研修会を「ピュアリティまきび」で去る6月13日開催いたしました。多数のご来賓と会員の皆さんのご参加の下、新年度の事業計画・予算案等についてご審議、ご承認を頂きました。承認された新年度の事業については、会員の期待に応えるよう事務局一丸となつて取り組んで参りたいと考えています。会員からの忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いしております。

訪問看護の課題は多く、厳しい状況にあります。一人一人が専門看護職としての役割と責任を自覚し、在宅ケアの推進とともに、地域住民が頼りにできる訪問看護事業所として、地域に定着させ、そして訪問看護の特性から訪問看護従事者一人ひとりの資質の向上を図ると共に質の高い訪問看護を提供できるように自己研鑽に努めていきたいと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様の今後のご活躍とご健康をお祈りいたします。また、会報6号発刊にあたり、大変お忙しい中、原稿をお寄せくださいました皆様方にお礼申し上げます。さらには、広報委員会の皆様方のご尽力に感謝します。今後とも、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新設のステーション紹介

「つくし」

訪問看護ステーション
岡山県 京子

岡山県の南西部、自然と文化の調和する井笠の地、里庄町に平成15年4月1日に開設いたしました「宇根本会」訪問看護ステーションです。看護スタッフ一同は、妻、嫁、母親の経験があり、やさしさ、思いやりの心で地域に根づく医療を基本理念として、利用者お一人お一人が住み慣れた地で安心して生涯を過ごせるよう、生活の向上を目指すお手伝いをさせていただきます。

又、訪問毎に、手洗い、訪問着、予防衣の着替え、洗濯、乾燥を行い、感染防止に努めております。

訪問看護一年生の私達ですが、利用者の方、家族の方々のコミュニケーションを大切に、信頼関係を築いて満足していただける看護が提供出来るよう、努力していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願致します。



平成15年度 訪問看護従事者研修年間計画

多数の会員様の参加を期待しています。 ※都合により、変更がある場合がございますのでご容赦下さい。

日時	テーマ	ねらい	講師・助言者	方法	会場
平成15年 9月18日(木)	訪問看護ステーションの経営管理について学ぶ	訪問看護ステーションにおける経営管理の知識を身につけ管理者・スタッフとしての意識を高める。	埼玉訪問看護ステーション連絡協議会 会長 中村静江	講演	ピュアリティまきび
10月16日(木)	訪問看護実習のあり方について学ぶ	1. 基調講演 臨地実習における在宅看護の位置付け及び教授内容・方法を学ぶ。 2. シンポジウム 訪問看護ステーションにおける実習指導上の現状と課題	1. 講師 交渉中 2. シンポジスト 交渉中	午前 基調講演 午後 シンポジウム	ピュアリティまきび
11月6日(木)	岡山市合同研修会 痴呆について学ぶ	痴呆・アルツハイマーの病態を学び対応の仕方の質を高める。	講師 呆け老人を抱える家族の会 岡山県支部代表 妻井令三	講演 情報交換	看護研修センター
11月22日(土)	公開講座 ハイテクケアについて学ぶ	在宅での医療依存度の高いケアに関する実践的知識・技術を習得する。	講師 1. 神経内科クリニックなんば 難波怜子 2. 交渉中	講演 (東中国エア・ウオーター後援)	駅前みよしの
12月4日(木)	岡山事例検討会 訪問看護ステーションと病院の連携を考える。	退院後安心して療養生活を迎える環境作りのための連携について考える。	助言者 交渉中 事例提供者 交渉中	事例検討	看護研修センター
平成16年 2月予定	倉敷事例検討会 褥瘡について学ぶ	1. 褥瘡の新知識を学ぶ 2. 在宅療養者の褥瘡予防・処置の事例を通して今後の看護に活かす。	交渉中	講演 事例検討	倉敷チボリ



ステーションからのリレーだより



すばらしき仲間

訪問看護ステーションアルテピア 万代京子

平成8年に訪問看護の仕事に就いてから、7年になりました。色々な人と出会い、多くの事を経験してきました。管理者という重責に押しつぶされそうになりながらも、利用者の方々の笑顔や元気な仲間を支えられて、毎日楽しくすごして来たように思います。

私達のステーションは、とても賑やかです。皆がよくしゃべります。利用者の情報交換はもちろんのこと、昼休みに、ヘルパーさんやケアマネジャーさんも交えて、家族の事や友達の話、遊びに行った事、美味しいお店があった事等、ワイワイがやがやまるで主婦の井戸端会議です。若いスタッフの話題にもついていかねばなりません。

しかし、このたわいもないおしゃべりこそが、仕事にメリハリをつけ、チームワークを生んでいると感じています。一人一人の個性を生かして、スタッフ同士がお互いを尊重し合って、向上していつている自慢の職場です。

身体と心の元気アップを

訪問看護ステーション くらかみ 小川洋子

くらかみは、山間の過疎地新見市を中心とした1市4町を活動地域としています。桜や紅葉を愛で、猿や狐、蛇に出会いながら、四季の移り変わりを肌で感じながらの訪問は6年目を迎えました。手さぐり状態だった開設時から、色々な利用者に出会い、経験する事で、技術面だけでなく精神的にも成長させていたのだと思っています。

現在は、日々の訪問の消化におわっている毎日です。少しでも質の良い訪問看護を提供できるように、講習会や研修会に参加したいと思っていますが、なかなか思うようできていないのが現実です。不安と疲労が多い在宅介護に、少しでも安心と元気を運べる訪問看護を提供できるよう、更にスタッフを充実し、スタッフの身体と心の元気もアップできるように、余裕を作りたいと思っています。ひいてはそれが、質の良い看護へとつながるのではないのでしょうか。



Q & A コーナー

(前回のアンケート内より抜粋しました。)

「訪問看護ステーション連絡協議会だより」アンケート結果報告

ステーション数：118ステーション
アンケート回収数：68ステーション
アンケート回収率：58%

(1)「訪問看護ステーション連絡協議会だより」を読んでいますか

- 1. はい (日)管理者のみ 2名 3%
- (月)ステーション全員 66名 97%
- 2. いいえ 0名 0%

(2)今回の広報誌(第5号)ではどの記事に興味がありましたか

- 1. 挨拶 11名 16%
- 2. 新設ステーション紹介 46名 68%
- 3. リレーだより 26名 38%
- 4. 訪問看護ステーション開設10周年を迎えて 24名 35%

(3)今後、どのような内容を希望されますか ※()はアンケート数

- 1. 今、困っていること 29名 43%
- 2. 他ステーションの皆さんに知らせたいこと 16名 24%
- 3. 新しい情報 61名 90%
- 4. 今まで通り 18名 26%
- 5. その他
 - ◇関係機関、利用者の方の声、意見なども時には入れてはどうか? (2)
 - ◇工夫していること
 - ◇ステーションのレセプト、費用運営など
 - ◇本の紹介
 - ◇研修会案内

(4)多かったです意見

- (日)「毎回、楽しみに待っています。大変だとは思いますが頑張って下さい。」(5)
 - (月)「今、困っていること」でQ & Aコーナーを作るのはどうか (4)
 - ・困った時の相談窓口案内
 - ・各ステーションの持ち回りで回答もする
- (ご協力ありがとうございました)

Q 自己負担はどのように設定していますか?

- A 運営規定に明記すれば自己負担を徴収することができます(死後処置等)
 - 介護保険⇒サービス実施地域外への訪問看護にかかる交通費を明記します。
 - 健康保険⇒時間超過(2時間以上、訪問看護基本療養費(割)を算定すべき指定訪問看護については3時間以上8時間まで)と休日、営業時間外のサービス料等の主要内容については明記しなければなりません。

Q ターミナルケアのマニュアル作成をしているステーションはありませんか?

あれば事務局まで連絡下さい。(内容が知りたいです)

○ 訪問・在宅ケアについて困ったことがあればお尋ね下さい。

日本訪問看護振興財団電話相談サービス
毎週月・水・金 9:00~17:00
TEL 03-5275-3599

新刊書紹介(図書案内)

- 1. 新 訪問看護ステーション療養費・介護給付費請求マニュアル
(財団法人 日本訪問看護振興財団 監修) 定価2500円+税
◆申し込み FAX:03-3256-2865
内容 H12・14年健康保険法改正 診療報酬改定・平成15年介護報酬改定を反映させ、最新の情報、請求方法に対応!
- 2. よくわかって役に立つ褥創のすべて (永井書店)

「事務局より」

NHKビデオ「すこやかシルバー介護」を購入いたしました。

- 第1・2巻 ねたきりの人の介護
- 第3巻 楽しい食事の工夫
- 第4巻 痴呆症の介護
- 第5巻 寝たままでもできるリハビリ体操
- 第6巻 安心できる住まいの工夫
- 第7巻 便利な福祉用具の選び方
- 第8巻 知っておきたい福祉サービス

御利用になりたい方は事務局まで申し出て下さい。

編集後記

少しづつ秋の気配を感じる季節になりましたが、皆様頑張っておられることでしょう。訪問看護ステーション連絡協議会だより、第6号をお送りします。皆様には、連絡協議会だよりについてのアンケートにご協力頂き有難うございました。沢山の方々を読んで下さっており、とても嬉しく思います。また貴重なご意見をお寄せくださり 有難うございました。皆様のご意見を参考に第6号を作成いたしました。新コーナー訪問看護のQ & Aコーナーでは、皆様のご質問にできるだけお答えしていきたいと思っております。皆様からのご質問、ご意見をお待ちしています。

広報委員一同

